

彙報

昭和五十七年度仏教文学会大会報告  
日時 六月十九日～同二十日  
会場 花園大学  
〈第一日〉 六月十九日(土)  
挨拶 花園大学学長 立花 大亀

理事会・評議員会  
(二二・〇〇～三三・〇〇)

研究発表  
〈午後の部〉(一三・〇〇～一四・三〇)  
日本靈異記の知識 早稲田大学(院) 仲井 克巳  
一遍聖絵の一考察 大正大学 長島 尚道  
『醒睡笑』の性格 東海学園女子 関山 和夫  
総会(一四・三〇～一五・三〇)  
なお理事会・役員会では、①五十六年度決算、五十七年度予算について討議された。

シンポジウム  
(一四・〇〇～一七・〇〇)

『今昔物語集』の構造をめぐって  
『今昔物語集』の作品内部に限って、各講師の成立論を含めた構造論についての見解を明らかにする  
京都府立大学 出雲路 修氏  
短期大学部 徳島大学 小峯 和明氏  
愛知県立大学 森 正人氏  
〈司会〉愛知学院大学 黒部 通善氏  
懇親会(一七・三〇～一九・三〇)  
会場 妙心寺山内  
(妙心寺精進料理)  
〈第二日〉 六月二十日(日)  
研究発表

東部部会(昭和五十七年度例会)報告

五月十五日(土)於・立正大学  
二十五三昧講式をめぐって 清水 宥聖氏  
芭蕉曼陀羅 竹下 数馬氏  
九月十八日(土)於・立正大学  
三帖和讃の左訓について 井上 治子氏

十二月十一日(土)於・立正大学  
(東西合同例会)

『靈異記』下巻・十三縁を通してみた  
説話の形成と伝播 寺川真知夫氏  
『平家』流伝考―日蓮の周辺に  
おける― 今成 元昭氏  
近代文学における他力的発想  
―『一路』をめぐって― 大河内昭爾氏  
〈例会後、参加の西部会員諸氏をまじえて忘年会を行なった〉

〈午前の部〉(一〇・〇〇～二一・〇〇)  
中世地蔵説話集の編纂をめぐって

東洋大学(院) 渡 浩一  
『日本靈異記』靈現説話の方法  
大谷 大学 入部 正純  
松尾明神と説話  
福岡女子短期大学 南里みち子  
為字和訓よりみたる法華経訓読  
名古屋大学 田島 毓堂

西部部会(昭和五十七年度例会)報告

五月二十九日(土) 於 龍谷大学

朗詠百首について 鈴木 徳男氏

平家物語鶴の章について

高橋 貞一氏

九月二十五日(土) 於 花園大学

秋成文学と「徒然草」 鴛山 樹心氏

「私聚百因縁集」本文における

一微視的考察 高橋 伸幸氏

講演・「書かれざる文学への志向」

―三遊傳円朝と仏教 関山 和夫氏

十月三十日(土) 於 大谷大学

「御文来意鈔の成立の経緯」

後小路 薫氏

狂言綺語観再考

―中世思想史の立場より―

笹田 教彰氏

十一月二十日(土) 於 京都女子大学

「命なりけり佐夜の中山」私解

浜千代 清氏

「平家物語異本との比較法」

高橋 貞一氏

一月二十二日(土) 於 佛教大学

〈説話伝承学会との合同例会〉

中世聖徳太子伝の秘事口伝

説について

阿部 泰郎氏

「中世竜蛇伝承の一面面」

稲田 秀雄氏

源実朝の「ありてはかなき」

歌について

日本昔話の比較分析論

―猿蟹退治を中心に―

マイケル・ケルシー氏